令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立豊里小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	東淀川区
学　校　名	大阪市立豊里小学校
学 校 長 名	小原　正

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立豊里小学校では、第６学年　93名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立豊里小学校の結果概要

〇国語科の平均正答率は、全国平均値、大阪市平均値と比較して、それぞれ5.9ポイント、4ポイント下回っている。
〇算数科の平均正答率は、全国平均値、大阪市平均値と比較して、それぞれ5.4ポイント、5ポイント下回っている。
〇平均無回答率は、国語科においては全国平均値と同程度であり、算数科においては全国平均値を1.5ポイント下回っている。このことから、設問に対して最後まで粘り強く取り組もうとする児童の姿がうかがえる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】学習指導要領の内容別の正答率を見ると、「（2）情報の扱い方に関する事項」の正答率が全国比1.09と高く、情報を比較・整理して捉える力に強みが見られる。一方、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」等の正答率が低く、文章の内容を正確に読み取ることや、読み取った情報を根拠として、自分の考えを明確に表現することに課題がある。今後は、情報を比較・整理する力を生かしながら、根拠を明確にして考えを形成し、話したり書いたりする力を育成する必要がある。
【算数】学習指導要領の内容別の正答率を見ると、「変化と関係」領域が全国比0.85と最も低く、数量の関係を捉え、変化の様子を考察することに課題が見られる。一方、これまでの基礎・基本の定着に向けた取組により、「数と計算」や「データの活用」については、比較的理解が定着している。今後は、計算技能等の定着を図りつつ、表やグラフ等の情報を基に数量の関係を捉え、「なぜそうなるのか」「どのような関係があるのか」を考察し、説明する力を育成する必要がある。

質問調査より

〇「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけない」という規範意識や「人と違う意見を言っても否定されない」と感じる安心感は全国に比べて高く、他者を尊重し、多様な意見を受け止める力は形成されている。一方で、話し合いを通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることについては課題が見られる。家庭での学習時間についても課題がみられ、家庭学習の習慣化に向けて家庭と連携しながら、自主学習の取り組みを進めながら、主体的な学び、考えを表現する力の育成につなげていく。

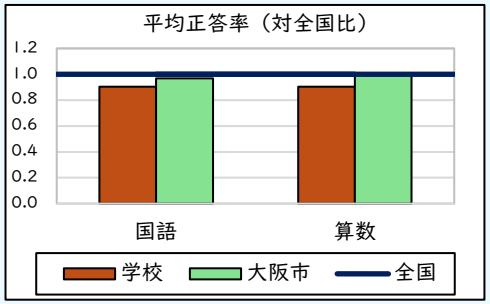
今後の取組（アクションプラン）

〇「全国学力・学習状況調査」の結果の分析から見えてきた成果と課題を全教職員で共有し、これまでの学力向上の取組を発展・深化させながら、継続して取り組む。特に、全教科において、理由や根拠を明確にし、自分の言葉で説明・表現する学習を充実させる。
〇国語科では、話す・聞く・書く活動を通して、文章や資料から必要な情報を取り出し、根拠をもって自分の考えを表現する学習を重点的に行う。算数科では、表・式・グラフを関連付けながら数量の関係や変化を捉え、考えたことを説明する活動を充実させる。これらの取組を通して、「わかったことや考えたことを、理由や根拠をもって自分の言葉で説明できる児童」の育成をめざす。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

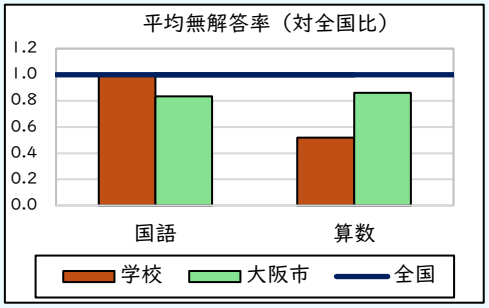
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	55	51
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



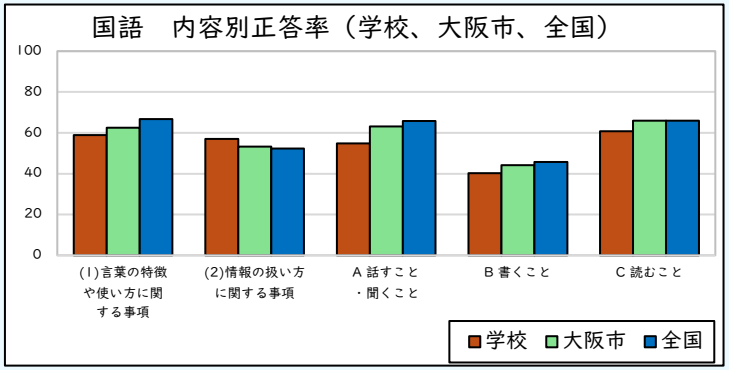
平均無解答率（%）

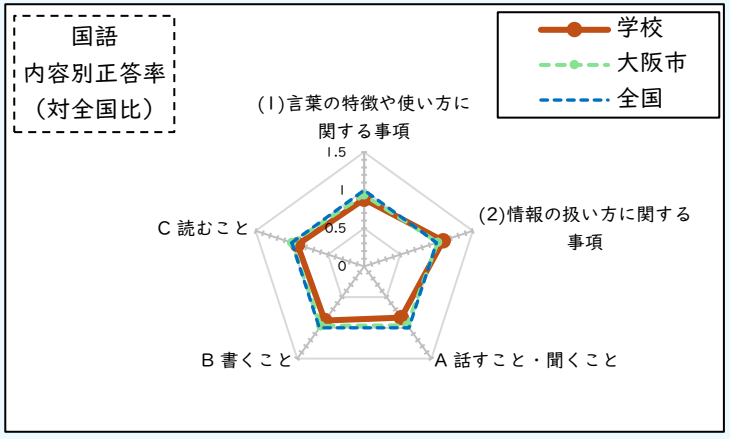
	国語	算数
学校	3.4	1.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

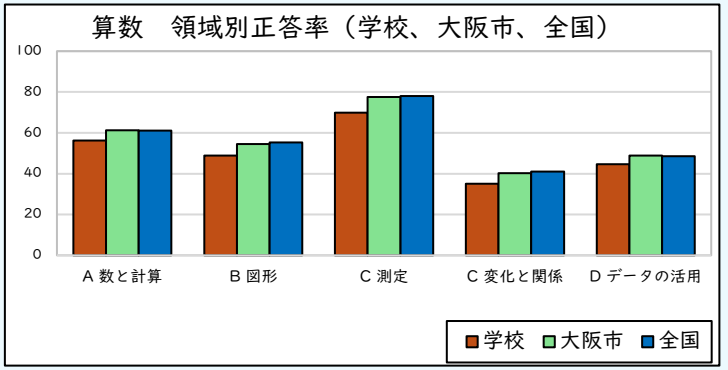
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	58.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	57.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	54.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	40.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	60.8	66.0	65.9

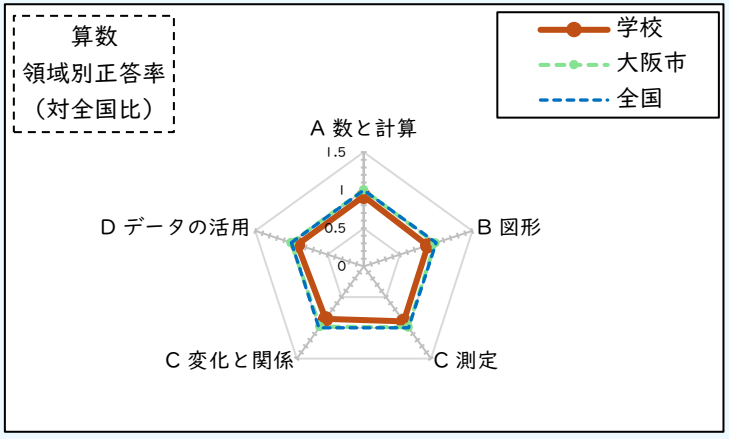




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	56.2	61.2	61.1
B 図形	4	48.9	54.5	55.3
C 測定	1	69.9	77.5	78.1
C 変化と関係	3	35.1	40.3	41.1
D データの活用	4	44.6	48.8	48.6

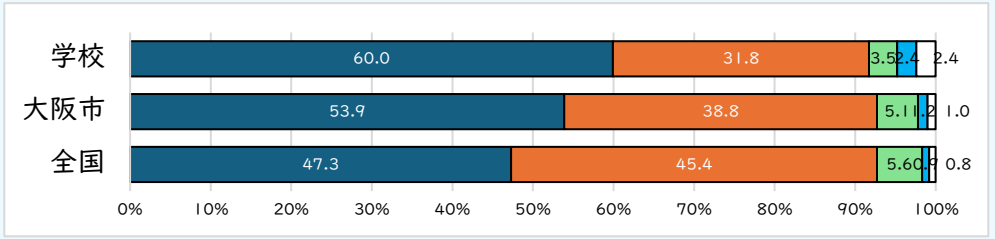




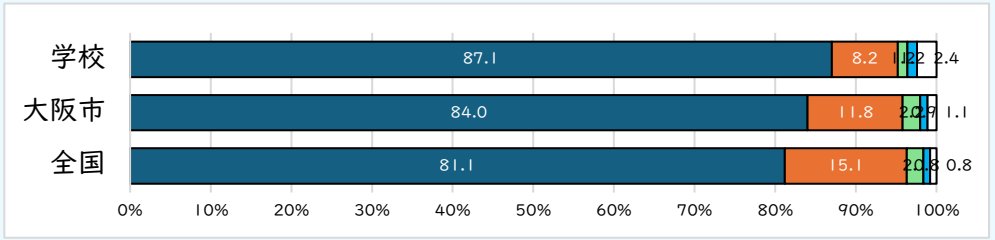
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

質問番号	質問事項
（１１）	人が困っているときは、進んで助けていますか
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（２０）	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
（４２）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
（２３）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

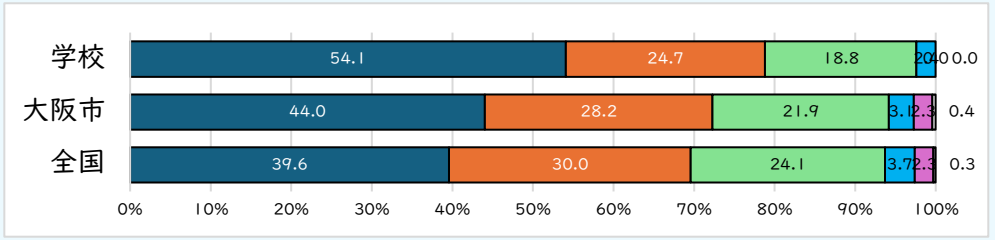
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。



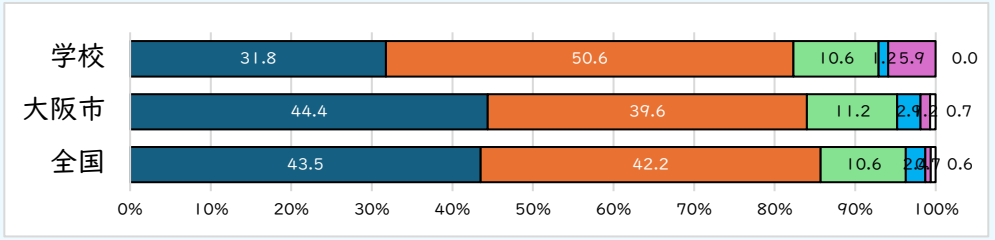
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



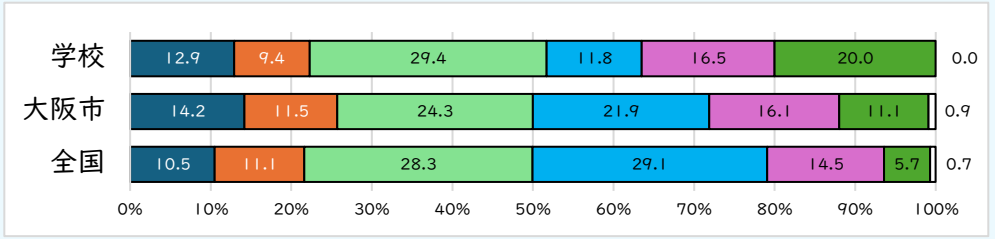
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



1 ３時間以上
2 ２時間以上、３時間より少ない
3 １時間以上、２時間より少ない
4 ３０分以上、１時間より少ない
5 ３０分より少ない
6 全くしない

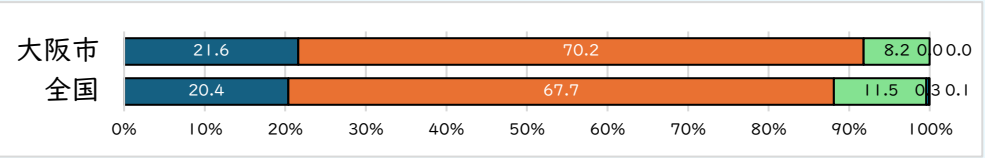
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（26）	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

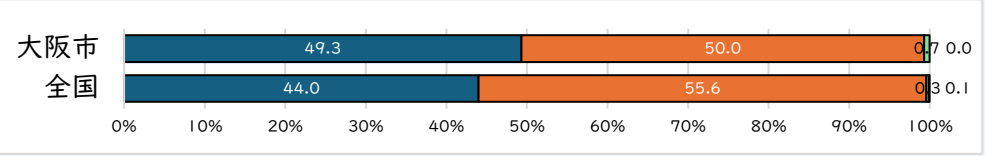
【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（16）	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

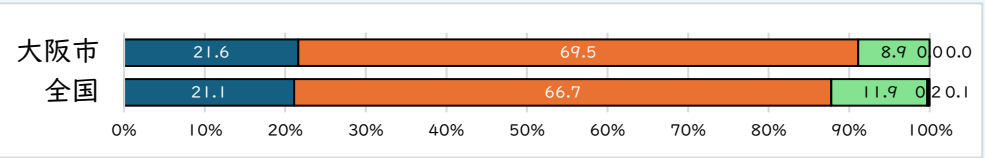
【学校の回答】　1　十分に取り入れている



1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

（28）	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

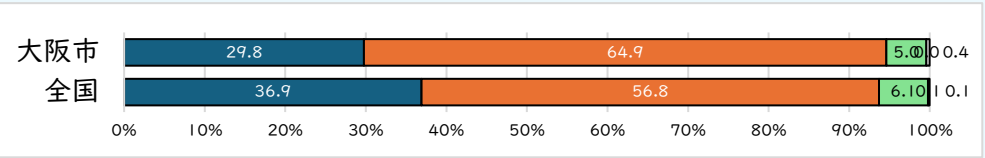
【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（41）	調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

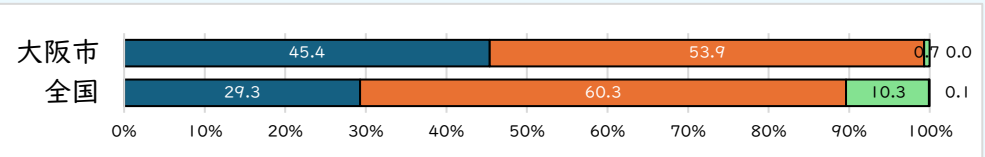
【学校の回答】　2　どちらかといえば、している



1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

（85）	令和７年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか（学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む）

【学校の回答】　1　よく行った



1 よく行った
2 行った
3 ほとんど行わなかった